

2020年 3月期 第2四半期決算説明会

2019年11月14日

東亜建設工業株式会社

目次

I ⁻¹ . 2020年3月期 第2四半期決算結果	- 3
I ⁻² . 事業分野別 受注実績（単体）	- 4
I ⁻³ . 事業分野別 売上高・損益実績（単体）	- 5
II ⁻¹ . 2020年3月期 業績見通し	- 6
II ⁻² . 事業分野別 受注見通し（単体）	- 7
II ⁻³ . 事業分野別 売上高・損益見通し（単体）	- 8
III. 上半期の主な受注工事の状況	- 9
IV. トピックスについて	- 10

I-1. 2020年3月期 第2四半期決算結果

(単位：億円、%)	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期			
	連結	単体	連結	前年同期比	単体	前年同期比
受注		985.0			792.1	△19.6%
売上高	712.0	681.9	838.7	17.8%	805.0	18.0%
売上総利益	60.9	50.9	89.7	47.4%	79.3	55.6%
売上総利益率	8.6%	7.5%	10.7%	2.1	9.9%	2.4
一般管理費	51.1	46.5	54.6	6.9%	49.9	7.3%
一般管理費率	7.2%	6.8%	6.5%	△0.7	6.2%	△0.6
営業利益	9.7	4.4	35.1	259.3%	29.3	563.4%
営業外収益	2.9	2.9	2.1	△29.2%	2.1	△28.9%
営業外費用	2.8	2.7	4.4	53.1%	4.1	49.5%
経常利益	9.8	4.6	32.7	232.7%	27.3	492.5%
特別利益	0.2	0.2	1.9	677.6%	1.9	679.7%
特別損失	0.5	0.4	2.7	366.0%	2.6	452.8%
税引前利益	9.5	4.3	32.0	236.3%	26.6	507.5%
四半期純利益	5.1	2.3	20.0	289.2%	17.3	633.6%
※連結は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」						
純資産	-	602	-	-	620	2.9%

■業績数値

□受注（東亜単体 792億円）

□売上高

豊富な繰越工事が順調に進捗し、増収。

□売上総利益

売上高の増加と採算性の向上により、大幅増益。

□営業利益

一般管理費は増加となったが、売上利益の増加により大幅増益。

□四半期純利益

有価証券評価損などの特別損失を計上する一方、有価証券売却益などの特別利益も計上し、大幅増益。

※連結は親会社株主に帰属する四半期純利益

■財務数値（単体のみ）

□純資産（目標：2019年度迄に650億円）

□ROE（目標：2019年度迄に5%）

注) 資料全般にわたり、金額は億単位で表記しておりますが、前期比の%表示は決算短信ベース(百万円単位)で表記しているため、率計算が合わない箇所がございます。

I -2. 事業分野別 受注実績(単体)

受 注 (単位：億円)		2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		
		実績	構成比	実績	前年同期比	構成比
国内土木	官庁	496.2		307.2	△38.1%	
	民間	136.3		145.6	6.8%	
	計	632.5	64.2%	452.8	△28.4%	57.2%
国内建築	官庁	52.4		34.9	△33.4%	
	民間	181.8		176.5	△2.9%	
	計	234.2	23.8%	211.4	△9.7%	26.7%
国内計		866.8		664.2	△23.4%	
海外	土木	96.9		103.3	6.7%	
	建築	11.9		0.2	△98.0%	
	計	108.9	11.1%	103.6	△4.8%	13.1%
	土木	729.4		556.2	△23.7%	
	建築	246.2		211.6	△14.0%	
	建設事業計	975.7		767.8	△21.3%	
開発事業等		9.3	0.9%	24.2	160.5%	3.0%
合 計		985.0	100.0%	792.1	△19.6%	100.0%

□受注高（792億円 前年同期比 △19.6%）

■国内土木（452億円 前年同期比 △28.4%）

- ・官庁土木は、国交省直轄工事などの受注が順調に推移するも、大型工事を受注した前期からの反動により大幅減。
- ・民間土木は、防災関連工事などの受注により、増加。

■国内建築（211億円 前年同期比 △9.7%）

- ・官庁建築は、大型PFI工事などの受注もあったが減少。
- ・民間建築は、得意の冷凍冷蔵倉庫など受注もあったが僅かに減少。

■海外（103億円 前年同期比 △4.8 %）

- ・大型の港湾工事などを受注。

I-3. 事業分野別 売上高・損益実績(単体)

売上高		2019年 3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
(単位：億円)		実績	実績	前期比
国内土木		382.9	446.0	16.5%
国内建築		217.6	226.2	3.9%
国内計		600.6	672.2	11.9%
	土木	51.5	112.5	118.5%
	建築	19.9	8.0	△59.6%
海外計		71.4	120.6	68.8%
	土木	434.5	558.6	28.6%
	建築	237.6	234.2	△1.4%
建設事業計		672.1	792.9	18.0%
開発事業等		3.9	5.7	46.3%
不動産等		5.9	6.3	6.5%
合計		681.9	805.0	18.0%

売上損益 利益率		2019年 3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
(単位：上段-億円、 下段-%・ポイント)		実績	実績	前期比
国内土木		43.2 11.3%	51.2 11.5%	18.5% 0.2
国内建築		16.6 7.6%	23.7 10.5%	42.8% 2.9
国内計		59.9 10.0%	75.0 11.2%	25.3% 1.2
海外		△1.2 △1.7%	5.2 4.3%	- 6.0
原価差額等		△10.2	△4.4	△57.1%
建設事業計		48.3 7.2%	75.8 9.6%	56.9% 2.4
開発事業等		0.6 15.4%	1.0 18.2%	72.8% 2.8
不動産等		1.9 33.3%	2.3 37.5%	19.9% 4.2
合計		50.9 7.5%	79.3 9.9%	55.6% 2.4

□売上高 (805億円 前年同期比 18.0%)

■国内土木 (446億円、前年同期比 16.5%)

手持ち工事が順調に進捗し、増加。

■国内建築 (226億円、前年同期比 3.9%)

完成工事の設計変更増などにより、増加。

■海外 (120億円、前年同期比 68.8%)

前期繰越工事の増加によって、大幅増。

□売上損益 (79億円、前年同期比 55.6%)

■国内土木 (51億円、前年同期比 18.5%)

売上高の増加と利益率の維持により、増加。

■国内建築 (23億円、前年同期比 42.8%)

完成工事高の増加と完工利益率の改善により、増加。

■海外 (5億円)

売上高の大幅増と一部工事の採算改善により、大幅増。

■原価差額等 (△4億円)

前期、修補関連の追加費用を計上したが、羽田・松山空港で地盤改良効果が確認されるなど、概ね想定どおり推移。

Ⅱ-1. 2020年 3月期 業績見通し

(単位：億円、%)	2019年3月期 実績		2020年3月期 見通し			
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比
受注		2,154			1,770	△ 17.8%
売上高	1,736	1,672	1,840	5.9%	1,770	5.8%
売上総利益	146	125	174	19.1%	157	24.6%
売上総利益率	8.4%	7.5%	9.5%	1.1	8.9%	1.4
一般管理費	106	96	111	4.5%	102	5.6%
一般管理比率	6.1%	5.8%	6.0%	△0.1	5.8%	0.0
営業利益	39	29	63	58.3%	55	87.4%
営業外収益	4	4	3	△17.5%	4	△ 7.1%
営業外費用	4	4	5	19.4%	5	18.6%
経常利益	39	29	61	54.7%	54	83.4%
特別利益	5	5	0	△98.1%	0	△ 98.1%
特別損失	1	1	1	△42.6%	1	△ 34.0%
税引前利益	42	32	60	40.4%	53	60.9%
当期純利益	30	24	39	26.9%	35	41.3%
※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」						
純資産	-	609	-	2019年度迄に650億円		
ROE	-	4.1	-	2019年度迄に5%		

■業績数値

第2四半期決算の売上高と利益の実績は期首予想と比較し、減収増益となったが、通期の業績見通しは、変更なし。

□受注

単体：1,770億円

□売上高

単体の受注が減少する一方、豊富な繰越工事が順調に推移し、連結・単体とも増収。

□売上総利益

売上高の増加に伴い増益。

□一般管理費

連結・単体とも増加。

□当期純利益

連結・単体とも増益。

※連結は親会社株主に帰属する当期純利益

■財務数値

□純資産

2019年度迄に単体で650億円。

□ROE

2019年度迄に単体で5%。

Ⅱ-2 事業分野別 受注見通し(単体)

受 注 (単位：億円)		2019年3月期		2020年3月期		
		実績	構成比	見通し	前期比	構成比
国内土木	官庁	893		608	△31.9%	
	民間	211		217	2.4%	
	計	1,104	51.3%	825	△25.3%	46.6%
国内建築	官庁	91		45	△51.1%	
	民間	430		475	10.3%	
	計	522	24.3%	520	△0.5%	29.4%
国内計		1,627		1,345	△17.4%	
海外	土木	487		399	△18.1%	
	建築	17		1	△94.4%	
	計	505	23.4%	400	△20.8%	22.6%
建設事業計	土木	1,592		1,224	△23.1%	
	建築	540		521	△3.6%	
	計	2,132		1,745	△18.2%	
開発事業等		21	1.0%	25	15.5%	1.4%
合 計		2,154	100.0%	1,770	△17.8%	100.0%

□受注高 (1,770億円 前期比 △17.8%)

■国内土木 (825億円 前期比 △25.3%)

- ・官庁土木は、引き続き、総合評価落札方式の対応強化を図る。(特に、横浜港の新本牧整備事業、阪神高速湾岸線の延伸、中期的には洋上風力発電所関連事業などの大型プロジェクトに注力)
- ・民間土木は、エネルギー関連、鉄道関連などに注力。

■国内建築 (520億円 前期比 △0.5%)

- ・官庁建築は、収益性や要員を念頭に、案件を選別して取り組む。
- ・民間建築は、設計施工案件・特命案件・企画提案案件に注力。

■海外 (400億円 前期比 △20.8%)

- ・引き続き、東南アジア・中東・アフリカ地区における港湾施設のほか、橋梁基礎、造成工事などの新工種にも注力。

Ⅱ-3 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)

売上高		2019年 3月期	2020年3月期	
(単位：億円)		実績	見通し	前期比
国内土木		919	932	1.3%
国内建築		518	498	△4.0%
国内計		1,438	1,430	△0.6%
	土木	162	291	79.4%
	建築	33	9	△72.9%
海外計		195	300	53.5%
	土木	1,081	1,223	13.0%
	建築	551	507	△8.1%
建設事業計		1,633	1,730	5.9%
開発事業等		21	25	16.9%
不動産等		17	15	△15.0%
合計		1,672	1,770	5.8%

売上損益 利益率		2019年 3月期	2020年3月期	
(単位：上段＝億円、 下段＝％・ポイント)		実績	見通し	前期比
国内土木		123 13.4%	108 11.6%	△12.2% △1.8
国内建築		35 6.9%	37 7.5%	4.3% 0.6
国内計		158 11.1%	145 10.2%	△8.5% △0.9
海外		0 0.3%	9 3.2%	- 2.9
原価差額等		△40	△6	
建設事業計		119 7.3%	148 8.6%	24.6% 1.3
開発事業等		3 18.3%	3 14.8%	△5.6% △3.5
不動産等		3 17.0%	5 33.3%	66.7% 16.3
合計		125 7.5%	157 8.9%	24.7% 1.4

□売上高 (1,770億円、前期比 5.8%)

■国内土木 (932億円、前期比 1.3%)

手持ち工事の順調な進捗により、前期比増。

■国内建築 (498億円、前期比 △4.0%)

完成工事の一巡と下半期着工予定工事の増加により、前期比減。

■海外 (300億円、前期比 53.5%)

繰越工事の増加により、前期比大幅増。

□売上損益 (157億円、前期比 24.7%)

■国内土木 (108億円、前期比 △12.2%)

売上高は増加するも工事利益率の低下により、前期比減。

■国内建築 (37億円、前期比 4.3%)

売上高は減少するも、工事利益率が改善し、前期比増。

■海外 (9億円)

売上高の増加により利益も回復し、前期比増。

■原価差額等 (△6億円)

前期、修補関連の追加費用を計上したが、羽田・松山空港で地盤改良効果が確認されるなど、概ね想定どおり推移。

Ⅲ. 上半期の主な受注工事の状況

事業区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期(自～至)	
国内土木	平成30年災 神戸港沖災害復旧工事(その2)	兵庫県神戸市	JV	2019年8月	2021年3月
	長浦(31)岸壁整備等追加工事	防衛省南関東防衛局	JV	2019年7月	2022年4月
	徳山下松港下松地区栈橋(－19m)渡橋部築造工事	国土交通省中国地方整備局	JV	2019年9月	2020年12月
	浮島2期廃棄物埋立処分場埋立管理等業務委託	川崎市環境局	単独	2019年4月	2022年3月
	熊野川船町・成川地区下流部河道浚渫工事	国土交通省近畿地方整備局	単独	2019年8月	2020年2月
国内建築	(仮称)ヴェルディ東桜町新築工事	株式会社信和不動産	単独	2019年7月	2021年12月
	株式会社日新東京冷蔵物流センター新築工事	株式会社日新	単独	2019年9月	2021年2月
	木更津市新火葬場整備運営事業建設工事	千葉県木更津市	単独	2019年7月	2022年12月
	株式会社八幡八幡埠頭事業所新バラ倉庫他新築工事	株式会社八幡	単独	2019年10月	2021年3月
	(仮称)目黒区青葉台3丁目計画新築工事	株式会社モリモト	単独	2019年9月	2021年3月

IV. トピックスについて

2019年 6月20日リリース

土木分野の技術開発

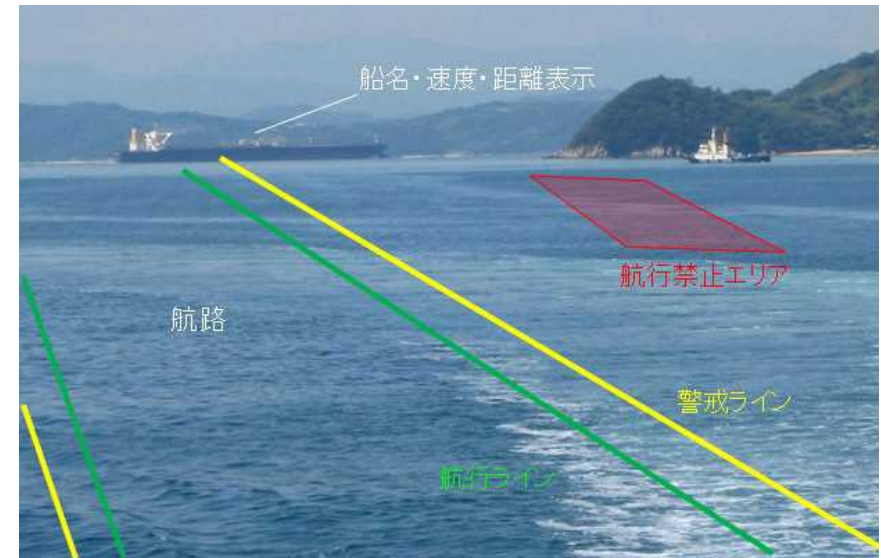
●航行(運行)支援システム「ARナビ」を開発

<「ARナビ」の概要>

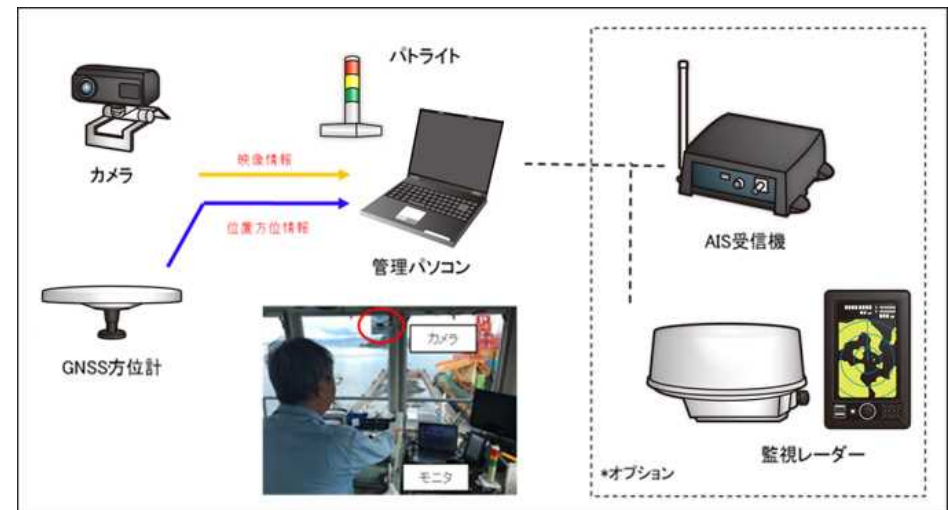
「ARナビ」は船舶の操船者に対してカメラで撮影した映像上に航行経路・危険エリア・他船舶の動静等を拡張現実(AR)として重ねて表示し、視覚情報と音声情報で分かりやすくナビゲーションするシステムです。

<特長>

1. 航路位置、航行禁止エリア、他船舶の動静情報、運行経路を拡張現実(AR)で高性能カメラの映像に付加し、視覚情報として表示が可能です。
2. 設定した進入禁止エリアに接近、進入した場合や航行経路が計画と違う場合、オペレータに注意喚起(アラート)を行うことが可能です。
3. 航行経路の計画に従って、針路を拡張現実(AR)でシステム画面に表示し、航路をナビゲーションすることが可能です。



【「ARナビ」画面表示イメージ】



【「ARナビ」システム構成のイメージ図】

□ お問い合わせ先

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1

新宿パークタワー31F

東亜建設工業株式会社

経営企画部広報室長 北川 欽一

TEL:03-6757-3821 FAX:03-6757-3830

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることをご承知おきください。

Yes! Harmony

